



みんながくらす社会のくふう



Kyoto Prefecture Super Support Center

京都府スーパーサポートセンター

今日のめあて

べんきょう

べんり

勉強や生活に便利な

いろいろなくふうについて考えよう

「みんなちがって、みんないい」

家族にも、クラスにも、学校にも、いろいろな人がいます。
町に出たら、もっといろいろな人がいます。
男の人、女の人、赤ちゃん、子ども、大人、お年より、
外国の人、目が見えにくい人、耳が聞こえにくい人、
せが高い人、せが低い人、
体育がとくいな人、音楽がとくいな人
いろいろいます。

出典：「私と小鳥と鈴と」 金子みすゞ

ではクイズ！（全部で5問^{もん}だよ！）

^{どうぐ}
この道具は、どんな時に使いますか。



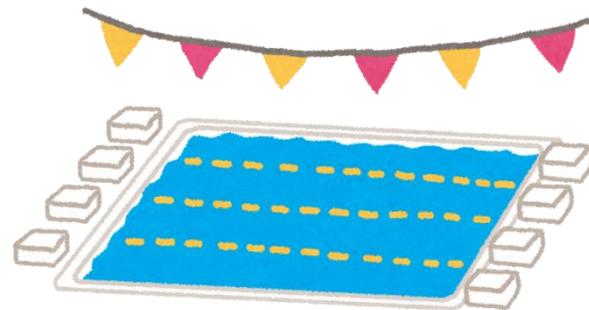
どうぐ

この道具は、どんな時に使いますか。

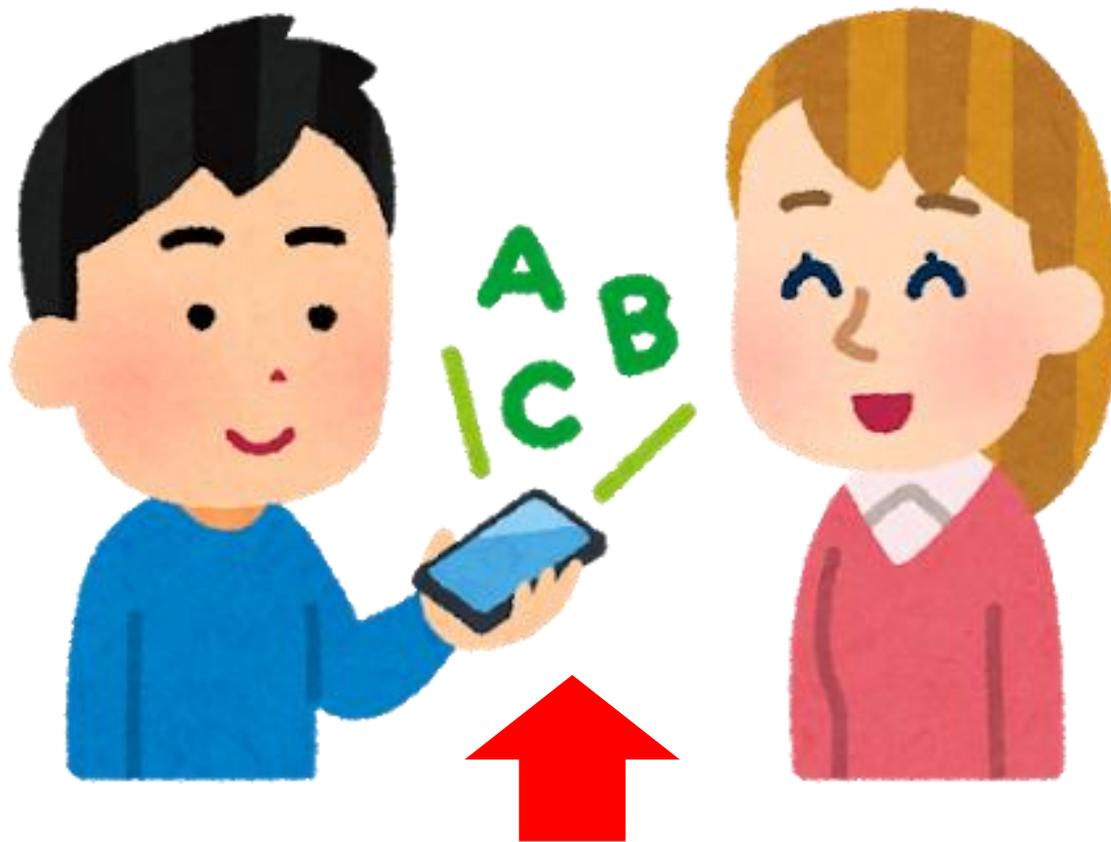


どうぐ

この道具は、どんな時に使いますか。

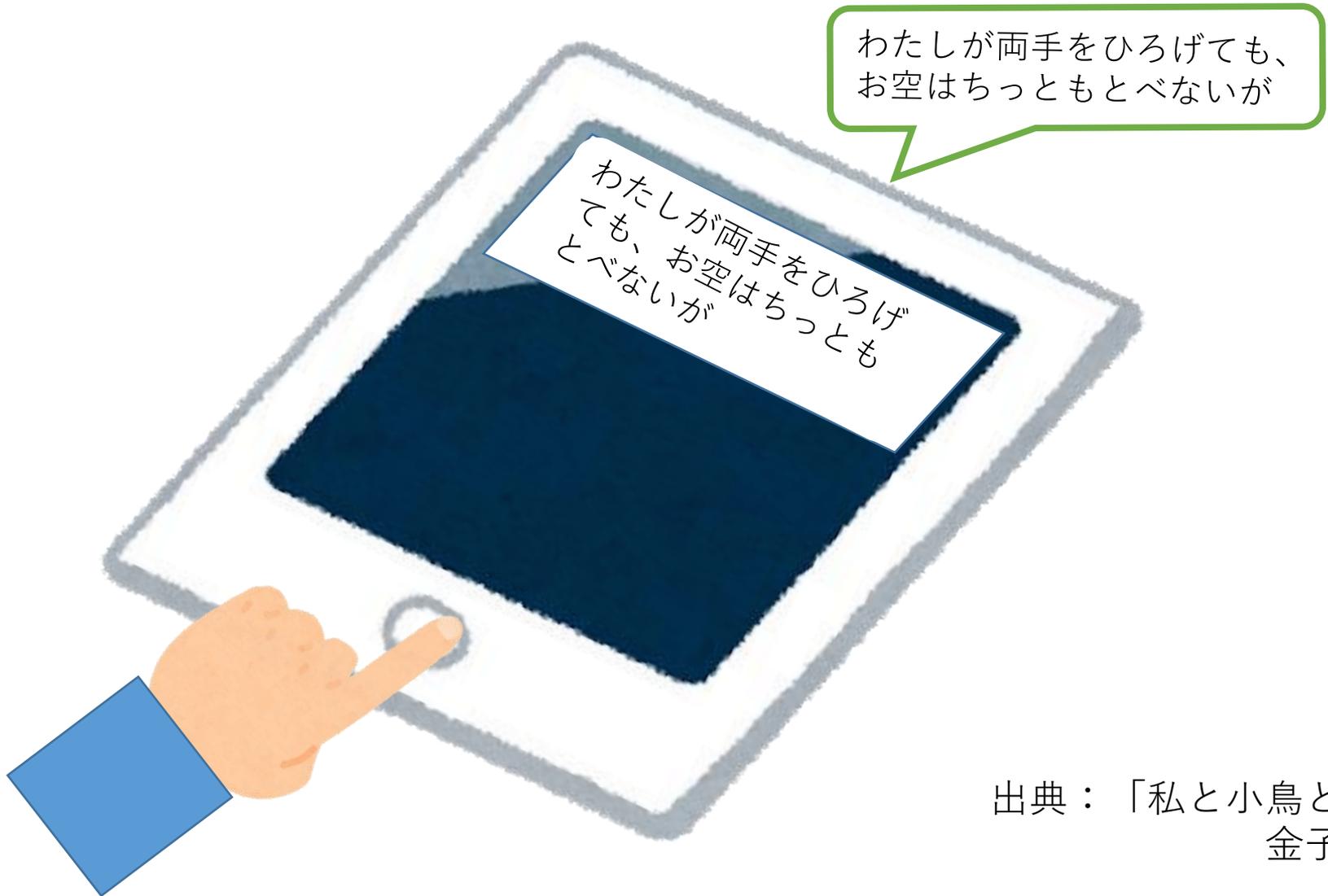


どうぐ
この道具は、どんな時に使いますか。



どうぐ

この道具は、どんな時に使いますか。



わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが

わたしが両手をひろげ
ても、お空はちっとも
とべないが

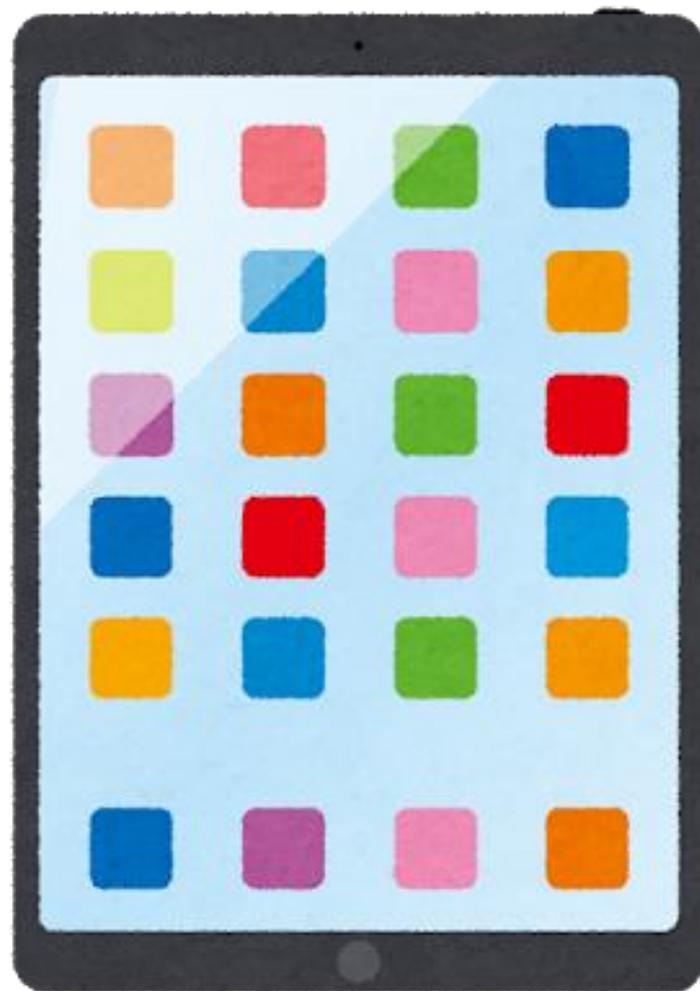
出典：「私と小鳥と鈴と」
金子みすゞ

字を大きくする

あ → あ

しゃしんをとる

字をよんでくれる



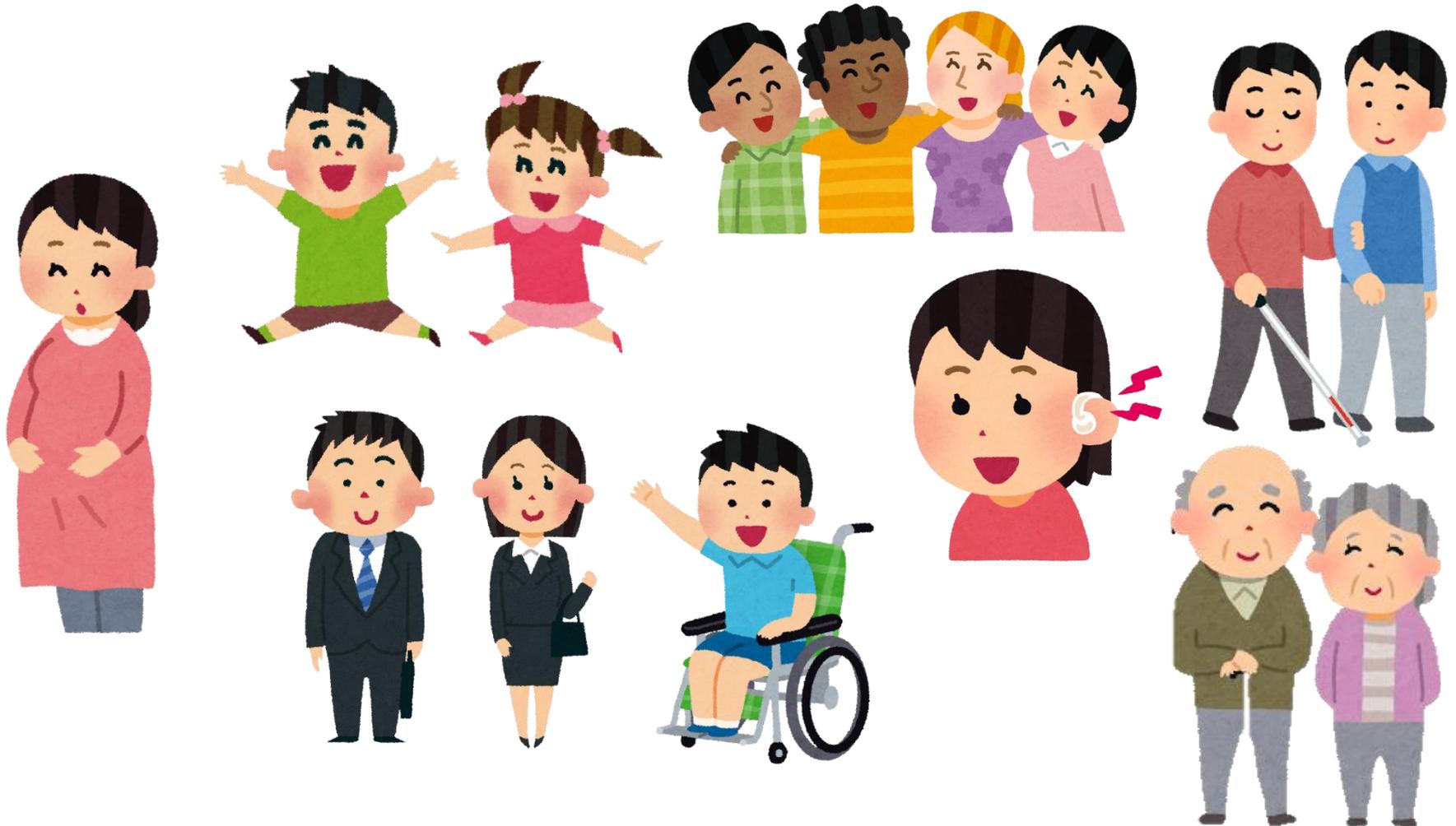
タブレット

勉強したり、生活するのに

どうぐ
べんりな道具が

たくさんあるね。

いろいろな人と いっしょに生活しています



**いろいろな人が くらすための
くふうを 知り、**

**だれもが 気もちよく 生活
できるように しましょう！**

どうべんり？

駅のトイレの入口



はん

班になって

考えてみましょう

もん

3問あるよ

子どもも、大人も 分かるくふう

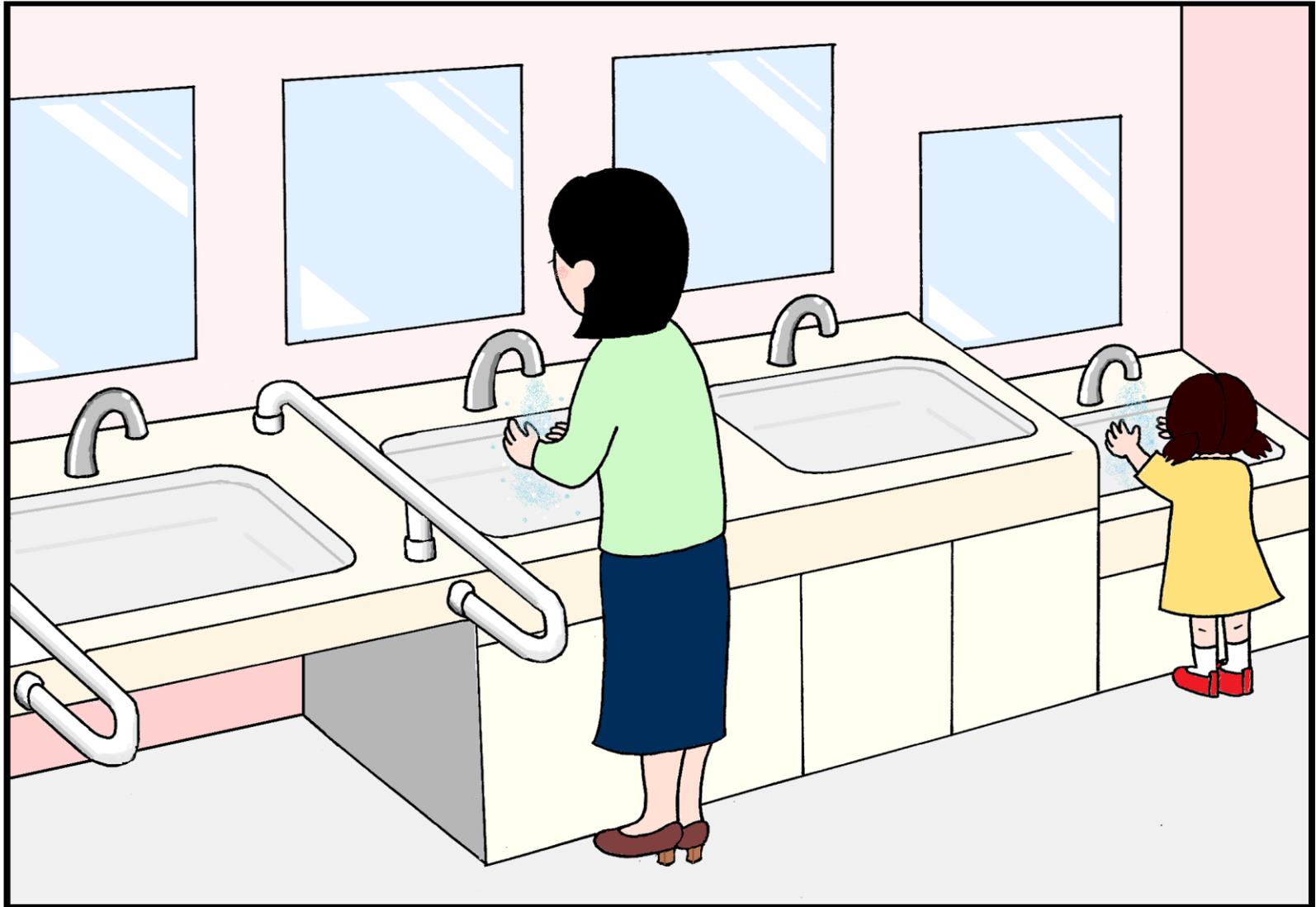
外国の人も 分かるくふう



字が読めなくても
分かるくふう

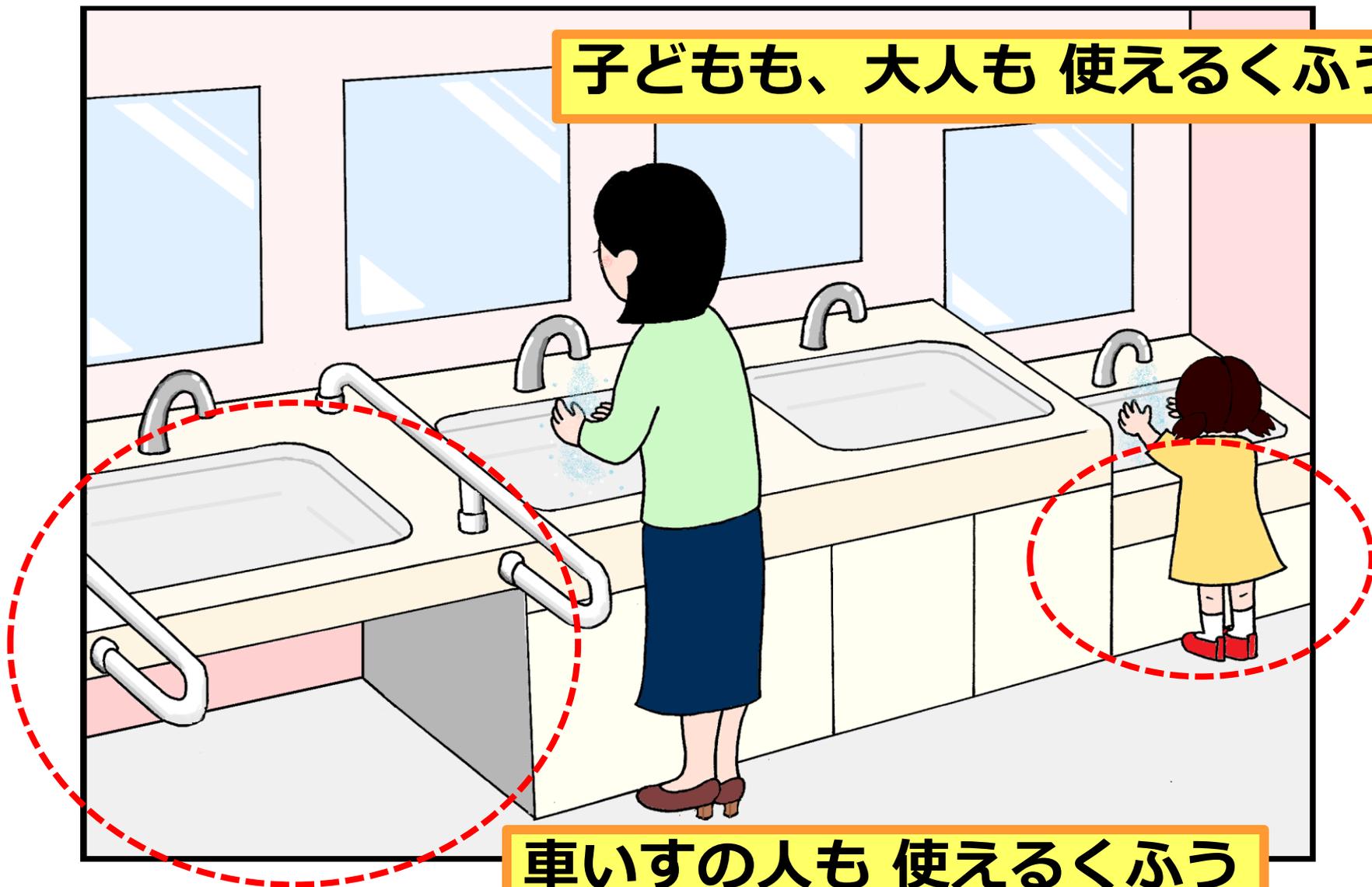
どうべんり？

駅のとイレの手洗い場



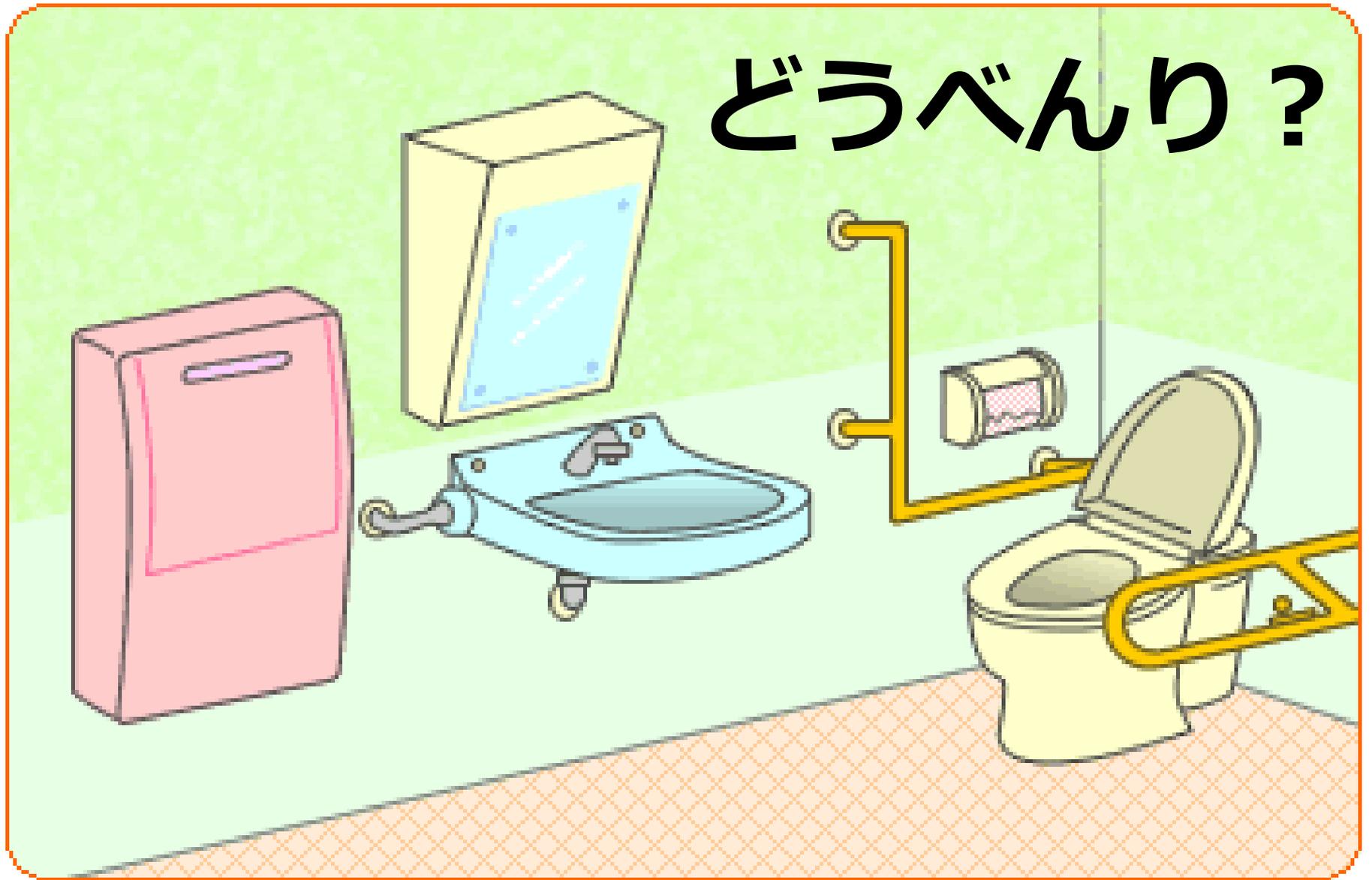
せの高い人も、ひくい人も 使えるくふう

子どもも、大人も 使えるくふう

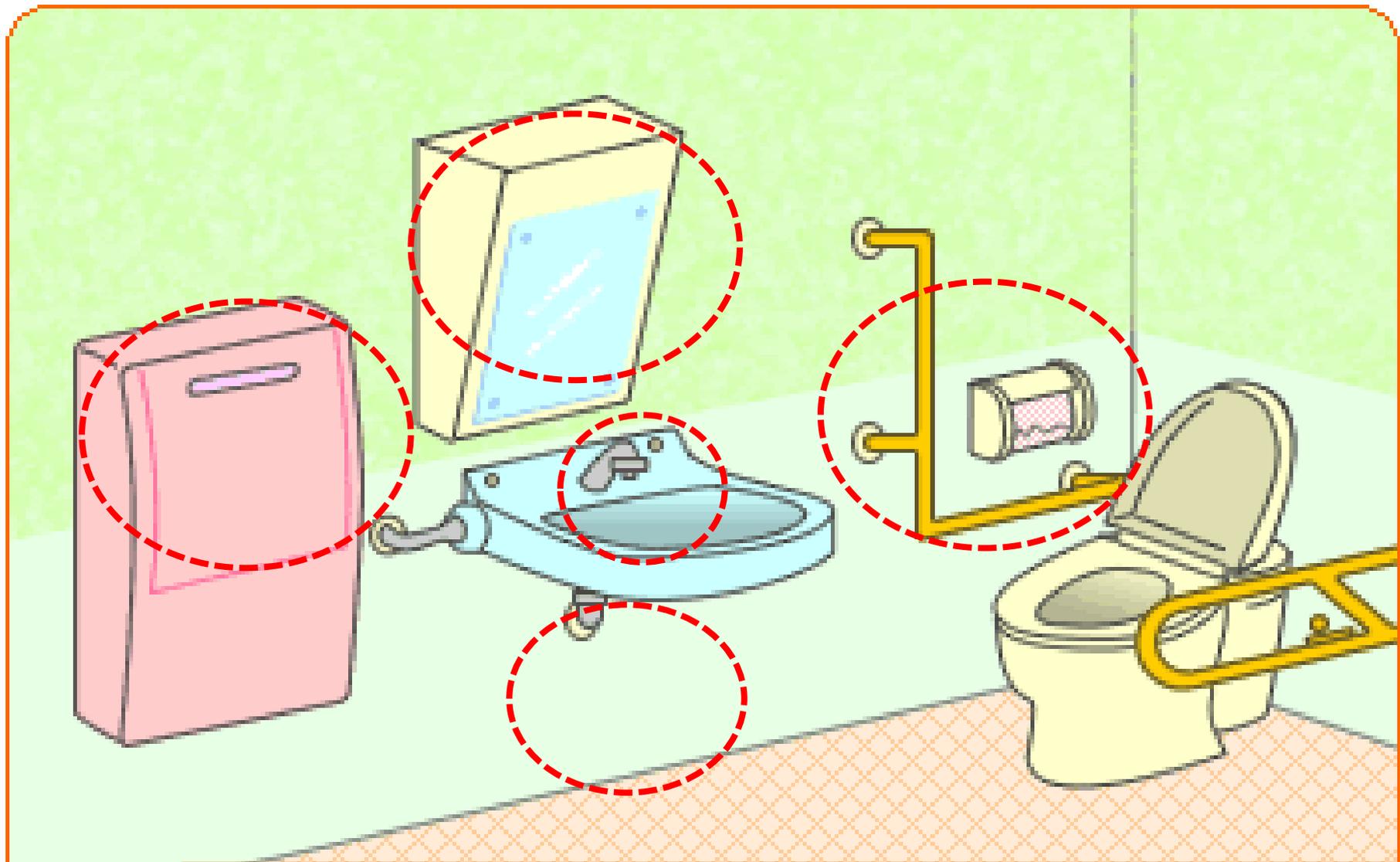


車いすの人も 使えるくふう

どうべんり？



出典：「バリアフリー情報マップ みやざき」



いろいろな人が使うための、トイレのくふう

これでみんなは「べんりなトイレ」はかせです！

いろいろな人に
べんりな
いろいろな
くふうが
あるんだね。



アーチェリー
を知っていますか？



アーチェリーはいろいろなやり方があります

- 立ってする
- すわってする

- 手で弓をひく
- 足の指で弓をひく
- 口で弓をひく
- かた肩にどうぐ道具をつけて弓をひく



どうぐ
やり方や道具をくふうすれば、

べんきょう

勉強やスポーツ、生活が

もっとゆたかになるね。



どうしたら、みんなで パンダが見れるでしょう？

どうぐ

どんな道具があれば
いいと思いますか？



出典：いらすとやのイラストを参考に、SSCで作成

あなたならどうする？

**みんなができるためのくふうは
人によってちがうんだね。**

まとめ

まずは「**知ること**」から
スタート！

くらしの中の、
いろんなくふう
を知ろう！



おわります。

<出典及び参考にしたもの>

- 「TOKYO 2020」 <https://tokyo2020.org/jp/>
- 「日本パラリンピック委員会」 <https://www.jsad.or.jp/paralympic/index.html>
- 「公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会」 <https://www.jsad.or.jp/>
- 「政策会議 心のバリアフリーについて」
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/program.html
- 「NHK for School」 <https://www.nhk.or.jp/school/>
- 「バリアフリー情報マップみやざき」 <http://m-bfree.pref.miyazaki.lg.jp/>
(4月以降、URLの変更の可能性があります)
- 「『気になる子たち』理解教育のきほんークラスみんなで学ぶ障害理解教育授業の進め方」
- 曾山和彦 (編) (株) 教育開発研究所 2016年
- 「はじめよう！ 障害理解教育-子どもの発達段階に沿った指導計画と授業例-」
- 水野智美 編/著 図書文化 2016年
- 京都府スーパーサポートセンター 障害理解教育プロジェクト 資料